



## 带状疱疹はどんな病気？

- ・過去に水痘（みずぼうそう）にり患すると、原因となるウイルスが体内に潜んでいて、加齢などにより免疫力が低下すると発症します。
- ・成人の90%以上は原因となるウイルスを体内に保有しています。
- ・水ぶくれを伴う赤い発疹が、体の片側の一部に帯状にあらわれます。
- ・多くは腕や胸、背中に症状が出ますが、顔や目、頭などにあらわれることもあります。
- ・死亡に至ることは極めて稀ですが、強い痛みを伴うことが多く、症状は3～4週間ほど続きます。
- ・約2割の方が皮膚の症状が治った後も痛みが残る「带状疱疹後神経痛」を引き起こし、3か月から数年痛みが続くこともあります。
- ・発症のピークは70歳代で、80歳までに約3人に1人が発症するといわれています。
- ・発症後は抗ウイルス薬を用いた治療などを行いますが、带状疱疹後神経痛が発症した場合は、根本的な治療法がありません。

## どのようなワクチン？

①生ワクチン、②不活化ワクチンのいずれかを選択して接種します。

		①生ワクチン (乾燥弱毒生水痘ワクチン「ビケン」)	②不活化ワクチン (シングリックス)
接種回数 (接種方法)		1回 (皮下に接種)	2回 (筋肉内に接種)
接種間隔		—	2か月以上の間隔を置いて2回接種
予防効果	接種後1年時点	6割程度	9割以上
	接種後5年時点	4割程度	9割程度
	接種後10年時点	—	7割程度

※交互接種（①生ワクチンと②不活化ワクチンを組み合わせて接種すること）はできません。

## 副反応は？

以下のような副反応がみられることがあります。また、頻度は不明ですが、アナフィラキシー等の副反応がみられることがあります。

接種後に気になる症状があった場合は、接種した医療機関にお問合せください。

副反応が現れる割合	生ワクチン	不活化ワクチン
70%以上	—	痛み*
30%以上	皮膚が赤くなる*	皮膚が赤くなる*、筋肉痛、疲労
10%以上	かゆみ*、熱感* 腫れ*、痛み*、硬化*	頭痛、腫れ* 悪寒、発熱、胃腸症状
1%以上	発疹、倦怠感	かゆみ*、倦怠感、その他の痛み

\* ワクチンを接種した部位の症状